

メルヘンハウス通信

柄の
色の



手もと

今月の和とく情報

七五三は母も主役

11月15日は七五三。毎年、日本の各地で子供の成長を祝って幸せな家族の様子が見られます。勿論子供が主役ですが、とりわけ両親にとっても晴れがましいことです。

正装した子供を囲み両親、兄弟、祖父母といっしょに記念写真を撮り、その写真は家族としての思い出、家族の歴史、本人の記録として、いつまでも残り続けます。

式の当日は子供が主役ではありますが、ここまで育てた母も主役だと思えます。どんな着物を着たら良いでしょう。

七五三はお祝いの式ですから多少は改まった雰囲気に着物が望ましいです。

これからの和とくポイント

どんな着物を着るか



①無地の紋付きを着る・・・色無地の紋付きは無難です。多くの方がお持ちだと思うので地の色がお子さんの着物の色と被らず調和がとれていれば良いと思います。紋付きは式の際には相応しいものです。

②付下げを着る・・・若い時に作った着物でまだまだ着られるのであればそれも良いでしょう。

③訪問着を着る・・・付下げと同様、お手持ちのがあって当日に相応しければ、ご利用なさるのがよいでしょう。

④小紋を着る・・・小紋にもいろいろあります。江戸小紋のように純正式なものは問題ありません。遊び的な感覚や趣味的な要素が強いものは避けた方が良いでしょう。

無地に近い感じのものなら、帯の格を工夫されて品良く引き立てるのであれば、それは良いでしょう。家族全体の調和がとれて、お母様らしい装いを心がけて下さい。

この機会にお着物を作られる方がいらしたら、お子様が七五三を迎えられる頃は一つの区切りでもあります。少し一段落してこれからは自分のこと、ミセスとしてお洒落や身だしなみに少し気を配りたいときでもあります。

年齢も30代から40代にかけて落ち着きのあるお母様としてのお洒落を華やかに楽しめる頃でもあります。若いときの着物をお持ちであればそのままではなく、年齢に合わせた袖丈にしたり、身幅を見直したりしてください。

やしま呉服店からのお知らせ

10月の秋のやしま祭りには多くの皆さま方にご来店頂きまして誠にありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

11月の催事・イベント

◎催事・・・バッグ特招会

とき：18日(金)

19日(土)

20日(日)

◎キャンペーン・・・1日(火)～8日(火)

帯締め・帯揚げを下取りして交換



※各詳細のお問い合わせはお店まで

◎HP：<http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

さくらきもの学院

※詳細はさくらきもの学院事務局まで

◎HP：<http://jtti.jp/sakurawasou/>

◎Fb：<https://www.facebook.com/sakurawasou/>

※レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン：初等科6回

・マイアップレッスン：10000円/10回

・1dayレッスン：500円/回

◎blog：<http://sakura-rarara.sblo.jp/>



By: お藤

ありがとう

今日もきもの気分

足もと